

経済学研究科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【修士課程】

経済学研究科修士課程では、愛知大学学位規程に基づき下記の資質を修得し、修士課程に2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ修士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。

- （1）現代の経済社会について広い視野の学識を修得していること。
- （2）経済学に関する高度な知識と技能を修得していること。
- （3）知識人・職業人として、地域・国際社会に貢献できること。

なお、修士の学位論文については、2名以上からなる審査委員会により、厳格な論文審査および口述試験を行います。

【博士後期課程】

経済学研究科博士後期課程では、愛知大学学位規程に基づき下記の資質を修得し、博士後期課程に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む)以上在学し、40単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して学位を授与します。

- （1）経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力と基礎となる学識を修得していること。
- （2）高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力を修得していること。
- （3）研究者・高度専門職業人として、地域・国際社会に貢献できること。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本大学院博士後期課程に3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む)以上在学すれば足りるようになっています。

なお、課程博士の学位においては、提出論文に対して、3名以上からなる審査委員会により、専攻科目および関連科目並びに外国語に関する試問を経て、厳格な論文審査と最終試験が行われます。